

## 河口湖 - 博物館とギャラリー

河口湖の水深は、最深部が 14.5m と、ほとんど山中湖と同じくらい浅い湖であり、もうひとつの水のスポーツの名所となっています。この湖の名前は「河川の口」という意味で、河口湖には 6 本以上の溪流が流れ込んでいます。特に河口湖の北東の湖岸には美術館・博物館や画廊が数多くあり、これらはすべてバスで行くことができます。富士五湖唯一の橋、河口湖大橋は、北側の産屋ヶ崎と、南側の河口湖ハーブ館を結んでいます。

この湖は東西に広がっているので、富士山を北岸に沿って多数の地点から眺めを楽しむことができます。産屋ヶ崎は何世紀にもわたって、水面が穏やかな時には富士山が湖面に反射することにより生まれる非常に美しい逆さ富士を見るのに最適な場所の 1 つとして有名です。この地域には、写真家の岡田紅陽、俳諧師の芭蕉、それに作家の中村星湖など、この地域に不朽の名声を与えた芸術家たちの記念碑が数多く建てられています。

## 歴史と民間伝承

河口湖の北東には 864 年の貞観大噴火後に富士山を鎮めるために建立された河口浅間神社があります。この神社の場所は、河口湖の南側には当時の噴火による火成岩が広がっていることから、おそらくその後の火山活動による溶岩流を避けるべく選ばれたのでしょう。

もうひとつ注目に値する神社は、富士五湖唯一の島、河口湖のほぼ中心に位置するうの島にあります。この神社は、時にこの付近のその他の神社の民間伝承に現れることもある音楽、流水と愛の女神、弁財天様を祀っています。